慣用句(上級)プリント26（ルビつき）

月　日　名前 _____

問1　「頭を丸める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 髪型をおしゃれにしようと、美容院で頭を丸めてもらった。
2. 今回の不始末の責任をとり、彼は頭を丸める決意をした。
3. 寝癖がひどいので、朝から頭を丸めて整えた。
4. 彼は頭を丸めて、帽子を深くかぶって出かけた。

問2　うまい話には（　）に唾をつけろという。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻
2. 目
3. 眉
4. 耳

問3　「胸を焦がす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 日焼けで胸を焦がして痛む。
2. たき火の熱で胸を焦がしてしまった。
3. 激辛料理を食べて胸を焦がした。
4. 遠く離れた恋人に胸を焦がす日々だ。

問4　「身を寄せる」の意味はどれですか？

1. 頼る所がなく、他人の家に住まわせてもらう
2. 集団の中で自分の居場所を確保する
3. 自分の体を壁や柱にぴったりとつける
4. 寒さをしのぐために、誰かのそばに近づく

問5　「手綱を緩める」の意味はどれですか？

1. 緊張していた気持ちを解いて、休息をとる
2. 準備していた計画を中止し、状況を白紙に戻す
3. 厳しく管理していたものを、少し放任して自由にする
4. 相手との対立を避け、妥協案を受け入れる

問6　老舗の料理に（　）鼓を打つ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 指
2. 舌
3. 耳
4. 胸

問7　「気を紛らわす」の意味はどれですか？

1. 他のことをして、苦しい気持ちや退屈な気分をそらすこと
2. 周囲の意見を聞き入れて、自分の主張を曲げること
3. 自分の考えをあえて隠して、相手を混乱させること
4. 複雑な問題を単純化して、理解しやすくすること

問8　料理の（　）自慢が集まる大会に参加する。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 目
2. 腕
3. 口
4. 足

問9　賞品を見て（　）の色を変える。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻
2. 耳
3. 目
4. 頬

問10　業績不振により、会社から（　）を叩かれた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 膝
2. 腰
3. 背
4. 肩

問11　部下の不始末で上司が（　）をかぶることになった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 砂
2. 泥
3. 水
4. 埃

問12　「骨身を惜しまない」の意味はどれですか？

1. 自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと
2. 自分の非を認めず、責任を他人に転嫁すること
3. 体力が衰えて、以前のように動けなくなること
4. 自分の利益のために、他人の犠牲をいとわないこと

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント26（ルビつき）　答え合わせ・解説

問1　答え 2　今回の不始末の責任をとり、彼は頭を丸める決意をした。

「頭を丸める（あたまをまるめる）」の正しい使い方は「今回の不始末の責任をとり、彼は頭を丸める決意をした。」です。
意味は「出家して僧になる」または「反省や謝罪の気持ちを示すために髪を刈って丸坊主にする」です。

問2　答え 3　眉

「眉に唾をつける」の「眉」の部分が入ります。 意味は「だまされないように用心する」です。

問3　答え 4　遠く離れた恋人に胸を焦がす日々だ。

「胸を焦がす」の正しい使い方は「遠く離れた恋人に胸を焦がす日々だ。」です。 意味は「あることを強く思い、じれったく思ったり切なく思ったりすること」です。

問4　答え 1　頼る所がなく、他人の家に住まわせてもらう

「身を寄せる」は「頼る所がなく、他人の家に住まわせてもらう」という意味です。

問5　答え 3　厳しく管理していたものを、少し放任して自由にする

「手綱を緩める」は「厳しく管理していたものを、少し放任して自由にする」という意味です。

問6　答え 2　舌

「舌鼓（したつづみ）を打つ」の「舌」が入ります。意味は「美味しいものを食べて満足する」です。

問7　答え 1　他のことをして、苦しい気持ちや退屈な気分をそらすこと

「気を紛らわす」は「他のことをして、苦しい気持ちや退屈な気分をそらすこと」という意味です。

問8　答え 2　腕

「腕自慢」の「腕」の部分が入ります。 意味は「自分の技術や能力が優れていると誇ること」です。

問9　答え 3　目

「目の色を変える」の「目」の部分が入ります。 意味は「ある物事に熱中したり、激しい感情をあらわにしたりする」です。

問10　答え 4　肩

「肩を叩く」の「肩」の部分が入ります。 意味は「上の立場の人が、それとなく退職をすすめる」です。

問11　答え 2　泥

「泥をかぶる」の「泥」の部分が入ります。 意味は「他人の罪や責任を代わりに引き受ける」です。

問12　答え 1　自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと

「骨身を惜しまない」は「自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと」という意味です。「骨身を惜しまず働く」のように使います。

いちごドリル プリント